



新機能および変更された機能に関する情報

次の表に、新機能および変更された機能の要約と参照先を示します。

表 1: Cisco DNA Center リリース 2.3.3 の新機能および機能変更

| 機能 | 説明 | 参照先 |
|---------------------|--|--|
| システム設定の構成 | <p>このリリースの Cisco DNA Center は、[System Configuration] の次の機能拡張をサポートします。</p> <ul style="list-style-type: none">• [Proxy Config] と [Proxy Certificate] は、[Proxy] ウィンドウで結合されています。• [Proxy] ウィンドウの [Outgoing Proxy] タブでプロキシ設定を設定できます。• [Proxy] ウィンドウの [Incoming Proxy] タブでプロキシ証明書を設定できます。 <p>Cisco DNA Center では、ライセンスを取得したスマートアカウントユーザーとその関連履歴データを保持または削除することもできます。</p> | <p>プロキシの設定</p> <p>プロキシ証明書の設定</p> <p>スマートアカウントの設定</p> |
| 証明書署名要求 (CSR) の機能拡張 | <p>[Certificate Signing] ウィンドウで、次を実行できます。</p> <ul style="list-style-type: none">• CSR プロパティをプレーンテキストでコピーします。• Base64 をコピーして MS CA に貼り付けます。• Base64 をダウンロードします。 | <p>Cisco DNA Center サーバー証明書の更新</p> |
| ライセンスの管理 | <p>Cisco DNA Center では、CSSM で購入および消費されたすべてのライセンス消費の履歴傾向を、日次、週次、および月次で表示できます。CSSM には、最大 1 年間の履歴情報が保存されます。</p> | <p>ライセンス使用量の履歴傾向の表示</p> |

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。